

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。
 平成26年7月から中村・山口栄養塾を開講しました。今回はその第二弾です。

“若手医師のためのはじめての一步”

どんな時、どの栄養剤をチョイスすればいいかわかりますか？

1. 必要なカロリー計算(基礎代謝、PS、全身状態)
2. 栄養状態を評価し過不足を算出
3. 基礎疾患を考慮(糖尿病、腎障害、肝障害、心不全など)
4. 検査データから、電解質異常やミネラルを読み取り、過不足を補正
5. 投与経路を選択(嚥下の問題はないか？消化吸収能が損なわれていないか)
6. 食事、投与する栄養剤、点滴をチョイス、適時組み合わせる

まずは栄養を「意識」してみよう♡ ～理屈じゃない栄養療法から～

- 食事をする患者さん、食事時間の患者さんを見に行こう。
- 元気な患者さんの食事姿は**普段より無防備**です。おそらくいろいろ教えてください。
- 元気じゃない患者さんの食事姿は**異様**です。
 →理屈じゃなく、今日医師になったあなたにも判ります。

例:

姿勢/体型/箸の進み具合/口の中、入れ歯あれ？持っていないの？/入れ歯合ってなくない？/おいしくないの？/苦しそうじゃない？/あらあら気切孔から栄養剤戻っているよ…/おなかパンパンじゃん。「わしは白い耳のパンは嫌いだ！」/飽きちゃって…/何つながってるんだろ？/リハビリ疲れてない？/

繰り返しアセスメントが大切

- 感染はないか？
- 体重測定を持続的に
- 脱水や過剰水分投与はないか？(下痢やイレウスなどの消化器合併症、血糖コントロール不良、心不全、腎不全の合併)
- 不足している栄養素はないか？
 →最適な投与法は**現在進行形**

適宜その選択と見直しが必要。

テーラメイドしかありません。

細かなサポートの一助としてNSTをご利用ください。

最適な栄養サポートには主治医、関わる医療職の方々の情報が必須です。

次回のNST・褥瘡勉強会予定

平成27年3月9日 18時～20時 日本大学医学部第二臨床講堂

今回は、NST・褥瘡合同勉強会です。近隣施設の方も参加可能(予約不要)です。

<テーマ1>

褥瘡に関する地域連携～制度をフル活用してより良い褥瘡ケアに取り組もう

<テーマ2>

腎機能と栄養管理